

令和元年度会長挨拶



令和元年度
会長 浅川 久美子

平成の時代が終わり新年号、令和の時代へ引き継ぐ年に、刈谷商工会議所女性会の会長を務めさせていただきます。

この新しい元号「令和」には、「人々美しい心を寄せる中で文化が生まれ育つ」の思いが込められています。私たち女性会のメンバーのほとんどが昭和の時代に生まれ、平成の時代を過ごし令和の時代へ繋げて行こうとしています。昭和52年に婦人経営研究会を発足させ、昭和62年に刈谷商工会議所婦人会を設立、平成2年に刈谷商工会議所女性会と改称し現在に至っています。今期で33年つまり33人の歴代の会長方々が一つ一つ活動を積み上げて、現在の活動があります。産業まつりバザー、大茶会・合同公演会等、続けるべき活動より一層良くして、新しい企画は取り入れてより良い活動を進めていきたいと思っています。

近年、「働き方改革」という言葉をよく耳にし、特に女性の働き方改善には注目し、その中で女性起業家も増えつつあります。そうした女性を一人でも多く巻き込み、会員増強に努めていきます。

最後に、女性会活動指針の中の一つ「信とは、礼節・勤勉を尊び、美しい自然や良き伝統・文化を愛し、次世代に継承することです。」今期はこの一文を念頭に置いて、平成の時代から令和の時代へ継承できるような活動を進めていきたいと思っています。

一年間 よろしくお願いいたします。

平成31年 定期総会・懇親会

2019年度定期総会が4月24日(水)蒲郡のラグーナベイコート倶楽部ホテルスパ&リゾートで開催されました。

出席者35名、委任状14名、総勢49名

前会長榊原美芳子氏の一年間の行事活動報告、私たちに感謝あふれるお礼のお言葉をいただき、一同感激しました。続いて、新会長浅川久美子氏より「前会長のお心配りに頭が下がります。」と労い、終始笑顔で力強く方針を述べられました。

会計報告・事業報告滞りなく定期総会は満場一致、拍手で終了しました。

刈谷商工会議所会頭太田宗一郎氏より「ますます女性会の社会への貢献と活躍を祈念します。」と祝辞をいただき、専務理事河内利夫氏の乾杯の音頭で懇親会が催されました。

会場となったラグーナベイコートホテルは2019年3月にオープンし、私達が初めての団体客であることを説明して下さり、大変光栄に思いました。窓からは素晴らしい海の景色を眺めることができ、さながら豪華客船にいるようなゆったりとした雰囲気になりました。会場内は黒・白のモノトーンで統一され大変洗練された空間となっております。料理は和洋中折衷料理がふるまわれ新鮮な魚介類に舌鼓を打ちました。事務局長加藤善弘氏の一本締めで14時に終了しました。

素敵な一日が終わり感謝します。一年間よろしく願います。



2019.4.24(水)



◆5月定例会

刈谷市歴史博物館見学会

風薫る新緑の中、刈谷市歴史博物館の見学会が5月17日に31名の参加で、令和の初回例会が開催されました。

モダンな和風外観の建物で、刈谷市を代表する万燈祭、山車祭、野田雨乞踊りなど3つの祭りの実物展示をはじめ、ハイテクを駆使した展示など館内の工夫を凝らした造りやデザインに目を奪われました。

また、博物館職員による施設案内もあり、刈谷の歴史を“見る”“知る”“体験する”ことができ、見所満載

でした。特に初代刈谷藩主“かつなりくん”こと水野勝成公について、深く学ぶことができ、地元藩主の偉大さを知りました。

昼食は、しゃぶしゃぶ炉懷石だるまで、イタリアンのおいしいランチをいただき、おしゃべりがはずみ、クイズも交えて、親睦深まる楽しい時間となりました。

改めて、刈谷の歴史を知ることにより、見聞や知識を深める良い機会となり、有意義な企画をしていただいたことに感謝いたします。

社会奉仕・広報委員 鈴木淳子



2019.5.17(金)
刈谷市歴史博物館

◆6月定例会

源氏物語について

女性会の6月例会が、令和元年6月13日(木)13時半から15時に行われました。

刈谷市総合文化センター402会議室にて、源氏物語について講演会がありました。出席数は、25名です。講師の先生として、名古屋女子大学文学部教授 辻知良先生をお迎えしました。

源氏物語は、平安時代に紫式部が遺した全54帖からなる壮大な長編恋愛物語です。1000年以上も前に書かれたものですが、光源治を取巻く複雑な女性&人間関係は、現代にも充分通じるものがあります。

知っているようで、知らない源氏物語の世界を、分かりやすく解説して頂きました。

社会奉仕・広報委員 石川 豊子





◆7月定例会

健康について

7月例会は、講師に、あらかわ内科クリニックの院長荒川健一郎先生による「健康診断結果の見方など健康について」と題してお話を伺いました。

先生は、福井大学医学部をご卒業され、地元に戻り刈谷中手町に開業されています。ご専門は循環器科ですが生活習慣病など幅広い診療を行われています。

まず、健康であるためには、虚血症心疾患、血管の動脈硬化の予防が最も重要で、その起因の一つ、糖尿病は、動脈硬化の進行を早め、脳梗塞、心筋梗塞、腎障害、網膜症のリスクを高めるということです。

その糖尿病と大きな因果関係のある肥満度BMIは、体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で計算し、数値が25以上になると「肥満」と判定されます。いわゆるメタボ(メタボリックシンドローム・内臓脂肪症候群)ということになります。

そうならないための予防として、

- ① 野菜から食べる
- ② 早食いはやめる
- ③ 揚げ物をひかえる
- ④ 果物は糖分が多いので少なめに
- ⑤ 豆類、そば、トマト、ブロッコリーをすすんで食べる
- ⑥ 食器を小ぶりにする

などを日頃の食生活において心掛けることで効果が期待できるとのことです。

人生100年、まだまだ長いです。「健康」で「愉しく」過ごしましょう。

社会奉仕・広報委員 野村裕子



2019.7.24(水)

あなたも女性会に入りませんか

刈谷商工会議所女性会は、現在事業経営に携わっている女性、そして将来経営に参加しようと考えている女性の集まりです。

会員相互の親睦を図りながら、女性ならではの感性を活かし、見聞を広め、実行力を身につけるために、研究会や講演会などを企画し、楽しく活動しています。

変革する社会のこと、新時代の商工業のこと、経営のこと、ひいては人生について学び、自らの資質の向上と、事業の発展を目指していきたいと考えています。

刈谷商工会議所会員事業所の女性ならば、どなたでも入会できます。

詳しくお話を聞かれたい方は刈谷商工会議所内 女性会事務局 (TEL21-0370) までお問い合わせ下さい。



古市憲寿氏講演会に参加

古市氏は、1985年生まれの34歳、「新たな時代の生き方改革」と題して、一時間半講演していただきました。

今年度は、青年部の第32回東海ブロック大会刈谷大会にあわせた講演会で、各地の青年部会員の参加があり、ほぼ満席でした。事前に講師の方に質問表が出ており、それに答えながらという、今までにない進め方でした。

リンダ・グラットンによると、平均寿命は、2007年には、二人に一人は90歳以上生きると予測している。昔の60歳が今の70歳代、70代の女子会大いに結構と話は始まりました。人口予測も2050年から2060年は、団塊ジュニアが高齢者。あのスマップも80代にと想像してみてください。そして、未婚化も四人に一人は独身で過ごします。さらに犬や猫は2000万頭いるが、子供の数はそれ以下。ひきこもりでもSNSではつながっている社会となる。古市さんは、きらいな人は、人間のサンプルと思うようにしていて、年齢だけでは付き合わず、幅広く、無理せず、努力しなくて、好きなことをするといわれました。

今や人手不足と言われる社会ですが、入社五年目の会社員の70%は、希望の職種につけて満足というアンケート結果もあると聞きました。働く環境を整え、IOT・AIに取り組まなければ、生き残れない社会だと思えます。講演修了後、古市さんは、女性会の皆様と写真撮影に応じて下さり、テレビ出演中の毒舌のイメージとは違い、フレンドリーに接して下さい、豹が描かれたスニーカーに、本日の講演会の意気込みが表されていると感じました。

社会奉仕・広報委員 下村みち子



2019.9.7(土)

鹿児島県全国大会

9月4日～6日、第51回全国商工会議所女性会連合会鹿児島県全国大会へ、刈谷からは16名が参加しました。

中部国際空港からプロペラ機へ乗り南の鹿児島県へ。口達者なバスガイドさんからは、財政力ナンバー1の刈谷から最低賃金ナンバー1の鹿児島県へようこそそのアナウンス。物価は愛知と変わりませんとのことでした。指宿では名物の砂蒸し温泉入った後、プロが選ぶ旅館百選料理部門33年連続第一位の和食懐石をいただきながら、浅川会長、鶴飼委員長企画の出し物も非常に盛り上がりしました。この日は修学旅行のように布団を並べておやすみなさい。

2日目は秋晴れというには暑すぎる天気にも恵まれ、きれいな開聞岳を左手に見ながら知覧特攻平和会館へ。この若者たちが戦死せず生きていたらどんな風になっていただろうかと思わず考えてしまいます。武家屋敷見学はガイドさんの力で特別な配慮をしていただき、素晴らしいおもてなし。西郷洞窟や島津家別邸の仙巖園で薩摩の歴史に触れながら、夜には城山ホテル他で全10会場に分かれて総勢2574名の女性会メンバーでの大懇親会はこれまた素晴らしい、「さつまおごじょ」のおもてなしを体感しました。

3日目は朝から記念式典のためアリーナへ移動。約2600名が一堂に会する光景はパワーが溢れ感動しました。刈谷は会員増加に伴い組織力強化表彰を受け、女性起業家大賞は同じ愛知県の蒲郡市の方が大賞に選ばれ、刺激をもらいました。物産展では鹿児島県へ貢献すべく買い物をしました。

私はびっくりする事いっぱい3日間となりました。挨拶された鹿児島県知事のお言葉の中に「自分の成功は自分の汗」とありましたが、参加して自分で感じとれたことがよかったです。今回参加できなかった方、つたない報告文ですが伝わったでしょうか。やはりそれぞれの感性がありますので、参加することで見聞を広めることができます。ぜひ今後も多くの行事に参加いただきますようお願いいたします。今回はありがとうございました。

社会奉仕・広報委員 田中繁子



2019.9.4(水)～6(金)